

2009

1

vol.121

千代川流域圏会議通信

千代川 news



清流くん

あけまして おめでとうございます

新しい年の幕明けです

千代川流域圏会議会長 道上 正規 より

昨年は台風が日本列島に1つも上陸しない珍しい年でした。1年を通じ全般的に雨も少なく、河川災害も少なかったように思いますが、夏は暑くゲリラ豪雨のような激しい雨に見舞われるなど、温暖化の影響が気候の変動幅が大きくなっているように思います。しかし、災害が少なかったというだけで、渇水や洪水の危機がいつやってくるかは誰も予測できないことです。そのためにも日頃から河川に関心を持っていただくことが非常に大切だと感じています。毎年行っている千代川フェスティバルは、子どもたちをはじめ流域の皆さんに河川について関心を持っていただくよききっかけだと思います。昨年も雨の中多くの方に参加いただきました。今後も続けていきたいと思っています。

今年、千代川流域圏会議は「転換期」＝「CHANGE」

の1年になると思います。市町村合併後、千代川流域圏会議は1市3町になりました。合併前同様、上流・中流・下流域それぞれの意見をくみ取り、河川の課題を解決し安全で潤いのある川にしていかなければなりません。何より流域の皆さんが千代川に関心を持って意見を出していただくことが重要です。まず川に触れ合い、川の楽しさを実感してもらいたいです。そのためにも活動している団体へ流域圏会議がわずかでも後押ししていくことができたらと思っています。さらに、今年は鳥取自動車道がいよいよ開通します。高速道路を利用し訪れた方が流域周辺で楽しめるよう、いかに魅力をひき出していくかが課題になってくると思います。どうぞ皆さんのご意見もお寄せ下さい。皆さんにとって素晴らしい1年になりますように。



平成21年の年頭にあたって

千代川流域圏会議副会長
鳥取河川国道事務所長 重高 浩一 より

平成21年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。新春にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。

昨年は、珍しく台風による大雨等がほとんどなく、千代川流域に関しては、河川災害の少ない年でありました。しかし、全国的にはゲリラ豪雨と言われるような局所的な豪雨による被災が話題になるなど、改めて水害の怖さと、治水事業の必要性・重要性が認識された年ではないかと思っています。当事務所におきましても、浜坂遊水池事業や、用瀬・国英地区における堤防整備事業など、地域の皆様が、笑顔で安心して暮らしていただける川づくりを目指して、鋭意事業を推進してまいり所存です。特に鳥取市が行う重箱緑地公園事業と一体となって推進している浜坂遊水池事業をこの春におおむね完成させ、

皆様の憩いの場を創り出すと同時に、狐川流域の安全性を高める予定です。

また、千代川は皆様の暮らしの営みを支える川でもあります。そのため、良好な河川環境を整え維持する事は、何より重要な事だと考えております。千代川流域が育んできた鮎が泳ぐような良好な自然環境は是非次代へ引き継がなければなりません。千代川流域における健康、癒し、環境意識の高まりを反映させつつ、地域の皆様と一体となって、より親しまれる川づくりを目指していきたいと思っています。

引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。





注意!



千代川水系において、油流出などの水質事故が多発しています。工場や工事現場だけでなく、ご家庭でも暖房器具に灯油を利用される場合などには、余った灯油の処理に気を付けて下さい。野外にうっかり捨ててしまい、それが地面に染み込んで川に流れ出るなど、些細なことから水質事故に発展することもあります。また、もし川に油が浮いているのを発見したら、すぐにご連絡下さい。

砂見川源流に 源流の碑を!



昨年度は悪天候により実施できなかった「砂見川源流探検」。今年こそは源流の碑を立てようと、12月6日に流域圏会議会員や地元の神戸地区有志などにより源流を目指す予定でしたが、あいにくの悪天候により、実行することができませんでした。

源流の碑は地元有志の方々にお預けし、気候が穏やかになったところに改めて源流を目指していただく予定です。その状況は、次号の千代川newsでご紹介します。